

# 2016 年度 事業報告

特定非営利活動法人 愛逢

## 1. 活動の成果

介護保険制度の改正に伴う法人全体の運営方針等を経営戦略会議を立ち上げ、考えていく体制が整った。介護保険に係る事業については利用者数の減少が続いており大幅な収入減となった。しかし、障害者支援事業の新規利用者依頼が多く、視覚障害や精神障害の利用が拡大した。

居場所づくりでは、前年度からスタートした子ども食堂が拡大し学校等の長期休み期間中の「お昼ごはん会」が始まった。春・夏・冬と3回実施した中では、NPO 法人愛逢ならではのイベントを取り入れ、お楽しみあり、学びありな子ども食堂となった。

## 2. 事業実施体制

### (1) 配食サービス・子育て家庭支援等の助け合い事業

- 見守り活動を兼ねた夕食の配食サービス 年間利用者数 12,037 食
- 制度でまかなえない部分の生活に関する支援等 年間利用者延べ数 618 件

### (2) 介護保険法に基づく事業

- ①訪問介護事業・介護予防訪問介護事業 年間利用者延べ数 408 人
  - 高齢者が在宅で安心して暮らすための生活援助と身体介護等の支援
  - 月1回のミーティングでの課題共有と解決により、利用者一人ひとりに見合った支援の具体化

- ②居宅支援事業 年間利用者延べ数 438 人

- ケアに携わる様々な人材（訪問看護・在宅医・福祉事務所等）との連携により、在宅ケアの困難事例に多く対応した
- 地域住民の相談窓口
- 介護保険制度改正に向けた知識の向上を最新情報の把握

### (3) 障害者総合支援法に基づく事業

- ①居宅介護・重度訪問介護・同行援護 年間利用者延べ数 289 人
  - 在宅で安心して暮らすための、障害者の生活援助と身体介護等の支援
  - 月1回のミーティングによる、課題の共有と解決に向けた討議
  - 精神障害の支援スキル向上のための研修会実施

- ②移動支援 年間利用者延べ数 79 人

- 一人での外出が困難な障害者の外出支援

### (4) 福祉有償運送事業 年間活動延べ数 109 回

- 公共交通機関を利用するの外出が困難な方への福祉車両を使用するの送迎支援

### (5) 終末期支援事業 入居者定員 5 人／看取り 5 人

- ホームホスピスの運営
- 地域の医療・介護・福祉団体との連携を目的としたネットワーク団体の一員としての勉強会・研修会の実施
- 年間計画を立て外部研修の積極的参加
- 防災特別推進委員の協力を得て、防災体制の見直しと防災マップ作成準備
- ボランティアグループとのつながりや定例会議による、入居者の日常生活の充実と関係性づくり
- 看取り文化の創出

### 3.NPOに係る事業

#### (1) 保健・医療・福祉に係わる啓発及び教育研修事業

##### ■第 11 回生と死を考える市民講座 『いのちのつながりをみつめて』

いのちの誕生と死、お産と看取りを通して受け継がれ育まれていくいのちのバトンについて学んだ

実施日時	10月29日
実施場所	関西国際大学 KUIS ホール
参加者数	79人
講師	菊池栄 毛利多恵子 関本雅子



#### (2) 地域の各機関との連携・交流事業

##### ①居場所づくり事業

■「より愛そのだ～ぼちぼち～」 → コープサークルぼこぼこと協働しコープ園田内で月2回の開催

■小中島での居場所づくり → 社協・町会・包括等地域の団体と協働し、地域のお寺にて「ごく楽茶屋」がスタート。月1回開催

##### ②園田地区子育て支援連絡会

■地域で考える子どもの居場所フォーラムの開催

1月26日 園田公民館 お昼ごはん会の事例発表団体として参加

■みんなでお昼ごはん会

※人数は延べ人数

		子ども	大人	ボランティア	合計
春休み	3/29～4/1 4日間	50人	50人	38人	138人
夏休み	7/25～8/29 6日間	185人	65人	52人	302人
冬休み	12/26～29 3日間	32人	36人	26人	94人
合計	13日間	267人	151人	116人	534人



##### ■そのっこ夕やけ食堂

毎週金日に開催。愛逢は第3金曜日をメインに担当し活動が継続されている。衛生面への管理徹底にも研修等で力を入れ、安心・安全に運営できるよう努めている。

##### ③見守り安心委員会

全体会の事務局を担い、各定例会に出席するなど情報共有が密にできている。

##### ④介護予防・日常生活支援総合事業への関わり

社協など地域団体と協力し、地域の困りごとはどうしたら解消できるかについて多様な団体が参加し話し合う研修会を実施した

11月20日 「地域での支えあいを考えてみませんか」 園田地区会館

#### (3) 熊本地震被災地支援

現地にある「ホームホスピスわれもこう」に、スタッフの派遣を行うとともに募金活動や物資支援を行った